



今年4月、富士ダイスの4代目社長に就任した。同社は1949年創業の老舗

耐摩耗工具・金型メーカー。設計から原材料調製、焼結、加工、検査までの一貫

生産体制で、ユーザーの多品種少量ニーズにこたえている。高付加価値製品の販売が主で、とくに国内超硬耐摩耗工具マー

ケットでは30%超のトップシェアを誇る。

入社以来、製造部門と生産技術部門に従事。2004年、

06年にかけては、同社主力製造開発拠点である郡山製造所の

する2年がかりのプロジェクトだった。

移転計画から建屋の建築、行政側との折衝などに携わり、良

新中期経営3カ年計画と成長力の強化に注

べく「革新」をテーマに掲げる。生産性向上・業務効率化、

次世代自動車への対応・拡販、新成長エンジンの創出、海外

と成長力の強化に注

「着眼大局、着手小局」が仕事上での信条。経営に携わる身

者。「会社全体の意思決定は理屈に叶った経済合理性を常に

という言葉も胸に刻む。

収益力、成長力高める

50歳を過ぎてから「健康のために長時間体を動かせる」と思ったのを機にロー

移転プロジェクトを

所長の立場で陣頭指揮を執った。「阿武

限川沿いで常に洪水や浸水のリスクのあった土地から、山沿

の工業団地に移転

画のスタート年でも

ある。同社はこれまでどちらかというと

保守的な社風だったが、主要取引先である自動車や鉄鋼業界

の環境変化に対応す

力していく。

かつての上司から事業全体のバランス、最適化を考える

重要性を説かれて以

見ずにならない」

(後藤 隆博)

富士ダイス

社長に就任した
くぼい つねゆき
久保井 恒之氏



略 歴

1981年芝浦工大卒、富士ダイス入社。生産技術部長、品質保証部長などを歴任。2009年2月に生産開発本部副本部長、14年6月取締役生産本部長、18年6月に常務取締役営業本部長、20年11月副本社長。1958年11月7日生まれ、東京都出身。

